



田尻町議会だより

# たじりの

8873

# 風

Vol.113

平成29(2017)年  
11月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



9月26日

## 暴力事案対応訓練及び消火訓練



### 主な内容

- ★ 一般質問 ..... 2 頁
- ★ 委員会報告 ..... 5 頁
- ★ 町村議会広報研修会報告 ..... 9 頁
- ★ この人にインタビュー ..... 10 頁

# 一般質問

■ 大門 久恭 議員 1. 避難所開設・運営の実施訓練を

■ 金田 裕治 議員 1. グローアップ事業の復活について

■ 東 小夜子 議員 1. 新生児聴覚検査について  
2. 胃がん検診について  
3. 駅前周辺の整備について  
4. 高校生議会について

■ 小川 雄司 議員 1. 小中学校分離を町政の課題として掲げることについて  
2. 「国民健康保険料や介護保険料が高い」という  
町民が困っていることについて  
3. 国保の府内統一保険料について

■ 吉開 育子 議員 1. ふれ愛センター壁面灯と駐輪場電灯の点灯時間延長を  
2. 公民館図書室について



※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



大門 久恭 議員

## 問 避難所開設・運営の実施訓練を

## 答 自主防災組織の育成と訓練が実施できるよう取り組む

**問** 防災訓練の一つに「避難所開設・運営訓練」がある。平成28年4月の熊本地震や、平成29年7月の線状降水帯による九州北部豪雨のような自然災害が全国で発生している。災害発生時の『いざ避難所開設』という時のために大変重要な訓練であることは間違いないが、近隣の市町村でもあまり実施されていないと思う。町として、避難訓練は年1回行われているが、大規模災害発生時に地域住民が自主的に避難所の開設・運営に取り組む環境をつくりだせるよう町が主導して訓練してはどうか。

**答** **危機管理課長** 大規模災害時における本町の指定避難所は、総合保健福祉センターと小学校になっている。しかし、災害時に避難所運営の業務全般を行政や施設管理者が担うことに限界があるので、地域住民の皆様には自主防災組織を中心に施設管理者と連携し、避難所の管理・運営を主体的に行っていただく必要がある。そのためには、地域住民の皆様が発災直後からの応急対応や、避難所の管理・運営が速やかに行えるよう、平常時から訓練等を通じて知識や意識を持っていただくことが重要である。町として自主防災組織の育成と実効性のある訓練が実施できるよう取り組む。





金田 裕治 議員

### 問 グローアップ事業の復活を

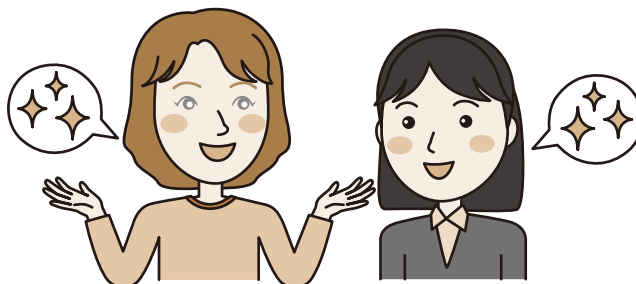
#### 答 前向きに検討する

**問** 田尻町には海外派遣研修を柱とするグローアップ事業という人材育成事業があったが、現在は廃止されている。関西国際空港の対岸である田尻町において国際化は避けて通れない流れであることから、事業の復活をしてはどうか。

**答** **企画人権課長** 海外派遣研修は一般住民や大学生を対象に募集したが参加者が少なく廃止にした経緯がある。近隣では中学生や高校生を派遣している例もあるので、参考にしながら田尻町に見合った海外派遣研修を行いたい。

**問** 海外の大学に行った場合に、授業料の一部を補助するような制度はどうか。

**答** **企画人権課長** それについては、グローアップ事業でも行っていた。どう田尻町に還元するかまでの仕組みがなかったのが課題だが、いろんなメニューは必要だと考えている。



東 小夜子 議員

### 問 新生児聴覚検査に補助を

#### 答 支援を検討する

**問** 新生児聴覚検査は、分娩した病院で入院中に検査を受けることが推奨されている。任意検査のため受けない人もいる。検査費用の一部を補助金で負担しては。

**答** **健康課長** 体制確保の進捗状況や近隣市町の動向を注視して、全ての新生児が受診しやすい支援を検討する。



### 問 胃内視鏡検査に補助を

#### 答 慎重に検討する

**問** 胃がん検診の項目が、問診に加え胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれかになる。胃内視鏡検査に補助を。

**答** **健康課長** 本町の胃がん検診は、胃エックス線検査で集団実施している。胃内視鏡検査は、個別健診しかできない。さまざまな課題もある。3市3町で調整を行うと共に慎重に検討を重ねる。





小川 雄司 議員

**問** 駅上の中学校総合運動場を廃止した理由は

**答** 中学校から「管理面で非常に厳しい」との声が出たため

**問** 共産党議員団が実施した小・中学校分離拡充についての町民アンケート結果は、「いいと思う」が58%をしめた。「よくない」と回答された方のご意見で「潮風グラウンド等を使用することで足りる」というご意見があった。あらためて、駅上にあった中学校総合運動場を廃止し、広場にしたい経緯をたずねる。

**答** 中学校から管理面で非常に厳しいとの声があり、施設としての有効利用が図られていない現状から、多くの方に利用していただくために平成24年4月に駅上広場としてリニューアルした。

**問** 「国保料や介護保険料が高い」との町民の声への所見は

**答** 所得に応じて、減免処置もある

**問** 共産党議員団が行った町民アンケートの回答45通のうち5通の回答で「国保や介護保険が高いため、生活に支障が生じる」などの声が届いた。栗山町長のご所見は。

**答** 負担される方にとっては、安い方がいい、高いのは大変、それは当然のことである。しかし、所得等々に応じた減免措置もある。国保は来年度から府統一保険料になることで2月には高い保険料の試算がしめされている。今後、新たな保険料がしめされたら、町として考えていきたい。



吉開 育子 議員

**問** ふれ愛センター壁面灯の点灯時間延長を

**答** 必要であれば防犯灯を増やす

**問** 共産党議員団が実施した町民アンケートで「ふれ愛センター壁面の街灯を、土、日、祝もつけてほしい。駐輪場の電灯も深夜0時まで点灯してほしい。夏祭りや秋祭りの際は人や自転車が多くぶつかったりで危ない。選挙の際も暗く歩きにくい。雨の日や冬場はドームに子どもを送っていくのに真っ暗で危ない。明るい街に犯罪や事故は起こりません。」というご要望が寄せられた。ふれ愛センターの壁面灯の点灯時間の延長を求める。

**答** **町長** ふれ愛センターの壁面灯はふれ愛センターのための街灯である。どうしてもあの前が本当の暗いのか、どこまで必要なのか、必要であればそこに別に街灯を増やす。

**問** 公民館前に本の返却ボックス設置を

**答** 検討する

**問** 「公民館の図書室に書店で購入し読み終えた本を寄付できる仕組みを検討していただきたい。時間外や休館日でも本を返却できるボックスを公民館前などにおいてほしい。」というご要望に応じていただきたい。

**答** **公民館館長** 本の寄付は事前に相談をいただき、多くの方に読んでいただけると判断したものを受け入れしている。図書室は水曜日の休館日以外、開館時間は9時～17時、返却受付時間は9時～21時、日曜日は9時～17時まで公民館1階の窓口開館時間で受け付けており、現在の時間で一定の利便性が図られていると考えているが、そういうご意見いただいているので検討する。

# 委員会報告

## 総務建設常任委員会

委員長 坂口 実

審査結果並びに経過報告 (9月11日開催)

### ◎田尻町公共施設等維持整備基金条例制定の件

(条例の制定) 【賛成3、反対1で可決】

**問** 第3条において、有価証券に代えることができるかとあるが、安全に運用できるのか。

**答** 国債等を額面以下で購入するため、元本を下回ることはなく安全である。

**問** 昨年度の国債による運用実績については。

**答** 額面5億円の20年国債を購入している。購入価格は約4億9千200万円であり、満期まで持っておれば現時点においても800万円の利益が見込まれる。

**反対討論** 有価証券で運用することは、不安要素があり、これまでのように定期預金にて運用すべきと考えており反対する。

### ◎田尻町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【賛成3、反対1で可決】

**問** 本条例改正の趣旨については。

**答** 今回の条例改正は町が独自に実施する事務に対し、個人番号を使用することを条例で定めおり、関係条例が廃止されたり、一部改正があれば本条例の改正も必要となるものである。

**反対討論** 福祉医療に関連する条例改正であり、医療費の負担増につながるものであることから反対する。

### ◎平成29年度田尻町一般会計補正予算(第4号)の件

(1億1,275万5千円の増額) 【全会一致で可決】

**問** 三世代同居・近居助成金260万円の内訳は。

**答** 住宅取得助成金30万を7件、借入助成金20万円を2件、転入助成金10万円を1件見込んでいる。

**問** 町としての吉見ノ里駅前開発について、具体的にどのような構想を持っているのか。

**答** 大阪側踏切道の拡幅、駅前広場の整備、駅舎の改築等、駐輪場前の道路整備等を複合的に進めたいと考えている。

### ◎無料スケートパーク・バスケットコート設置に関する請願

(無料スケートパーク・バスケットコート設置に関する請願) 【全会一致で採択】

## 文教厚生常任委員会

委員長 中川 達夫

審査結果並びに経過報告 (9月12日開催)

### ◎田尻町老人医療費の助成に関する条例廃止の件 (条例の廃止) 【賛成3、反対1で可決】

**問** 難病患者数について把握できていないと答弁されたが、その理由は。

**答** 重度障害者医療の対象は、障害年金1級相当の難病対象者となるが、障害年金1級の方について把握することができない。又、難病疾患についても、56疾患から330疾患と拡大されるので、新たに難病の対象となる方についても不明のため把握できない。

**問** 自動償還の方法について、どの様に考えているのか。

**答** 今後システム改修を行うので、現在のところ未定である。

**反対討論** 難病対象が330疾患まで増えることは喜ばしいものの同時に自己負担も増加することとなる。本来、福祉医療制度は自己負担なしに制度を拡大すべきと考えており反対する。

### ◎田尻町身体障害者及び知的障害者の医療費の助成に関する条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 精神障害者保健福祉手帳1級所持者と難病患者者の人数は。

**答** 本制度の対象となる精神障害者、保健福祉手帳1級所持者は64才以下1名、65歳以上2名となっている。重度難病患者数については把握できていない。

**問** 訪問看護助成と精神病床への入院助成はどうか。

**答** 訪問看護については制度に基づき助成するが、精神病床への入院の場合については対象外となっている。

**賛成討論** 本制度により自己負担額が増加するものの、対象者が拡大するため賛成する。

◎田尻町ひとり親家庭の医療費の支給に関する条例一部改正の件  
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

◎田尻町子ども医療費の助成に関する条例一部改正の件  
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

◎泉佐野市田尻町清掃施設組合理約の一部変更に関する協議の件  
(規約の一部変更に関する協議) 【全会一致で可決】

**問** 本規約の変更による効果額は。

**答** 平成28年度の状況で試算すると負担比率が人口割の7.8%から搬入量割の1.4%に縮小するため、約1,460万円の負担減となる。

◎平成29年度田尻町一般会計補正予算(第4号)の件  
(1億1,275万5千円の増額) 【全会一致で可決】

**問** 学校給食調理業務委託期間をこれまでの5年間から3年間とした理由は。

**答** 業務委託料の多くを人件費が占めており、近年最低賃金の変更が影響し、5年間では委託料の見積もりが難しくなってきたため3年間とした。他の自治体においても3年間の業務期間が多い。

**問** 給食場改修工事予算が計上されているが学校給食の1品目増やすことと、どのような関連があるのか。

**答** 1品目増やすことにより、それを保管する食缶や食缶を消毒する保管庫等が必要となるので、そのための工事費用である。

**問** JA跡地に給食調理場を移転する考えはないのか。

**答** 現時点においては全くの白紙である。

**問** 歴史館耐震補強修理工事実施計画業務委託料が622万1千円計上されているが、その内容については。

**答** 耐震診断を洋館、和館、茶室、中蔵、門の5棟について実施してきたが、診断の結果、洋館、和館、及び門について実施設計をするための予算である。

◎平成29年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)の件  
(3,391万7千円の増額) 【全会一致で可決】

**問** 平成29年度一般会計からの繰入金額及び来年度からの統合に伴う国保会計予算についてはどうか。

**答** 平成29年度当初予算では、一般会計からの繰入金額は1億231万6千円である。又、来年度の国保会計予算については、予算科目の変更はあるが、国保会計そのものは残る。

◎平成29年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)の件  
(13万円の増額) 【全会一致で可決】

◎平成29年度田尻町介護保険特別会計補正予算(第1号)の件  
(1,005万6千円の増額) 【全会一致で可決】

**問** 要支援1、2の介護予防サービス費が増加した理由は。

**答** 当初予算では2款、保険給付費の介護予防サービス費で計上していた訪問介護と通所介護にかかる費用が今年度からの総合事業の実施に伴い、すべて3款、地域支援事業費で予算計上していた。しかし、泉佐野以南の3市3町で検討した結果、いきなりすべてを移行するのは難しいということとなり、今年度から要介護1または2に認定の更新をした人から地域支援事業に移行することとなったため、今年度の介護予防サービス費が不足することとなったものである。

# 決算特別委員会

委員長 東 小夜子

審査結果並びに経過報告 (9月14日開催)

## ◎平成28年度田尻町一般会計決算認定の件

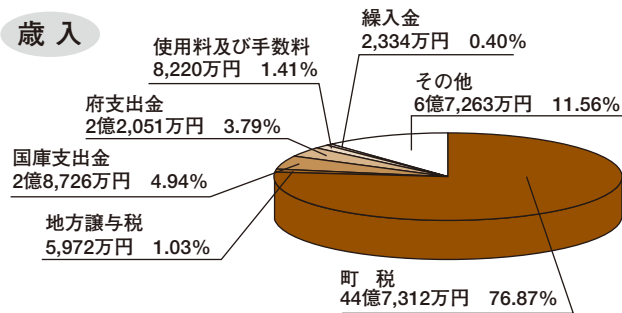
【全会一致で可決】

### 歳入

**問** ふるさと納税の納付いただいた金額の内訳は。

**答** 214件で501万5千円である。

### 歳入



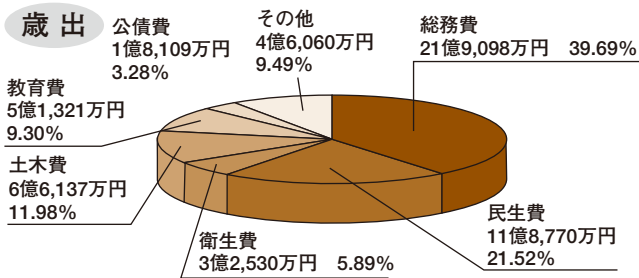
### 総務費

**問** 職員退職手当基金積立金は28年度は5,012万円だが、これはいつまで積み立てるのか。また大量に退職者が出る予定はあるのか。

**答** この職員退職手当基金とは、27年度から、毎年5千万円ずつ積み立てており、積み立てに伴う利子も毎年積み立てている。

退職がこれから大量に出てくると予想されるのでそれを目的にやっており、多く退職するときはその退職基金を取り崩すため積み立てている。

### 歳出



### 民生費

**問** キッズルームをふれ愛センター3階、幼稚園2階でやっているが、1日に何人の利用があるのか。

**答** 平均として、ふれ愛センターでは1日当たり20名の方が利用されており、子育て支援センターでは、1日当たり14名の方が利用されている。



### 衛生費

**問** 新しい墓地の区画の申し込み状況は。

**答** 新しい区画の申し込みは、大きい区画で7件で、小さい区画は平成28年度はなかった。

### 労働費

**問** 28年度においてどういう講習をやって、どのぐらいの就労につながったのか。

**答** 講座の方を2講座開設し、1つがフォークリフト講習、もう1つが介護職員初任者研修で、受講者の方が、フォークリフトで2名、介護の方で0名という結果である。この2名のうち、1名の方は就労につながったと聞いている。

### 農林水産業費

**問** 府有財産使用料について漁協からは幾ら入っているのか。

**答** 漁業組合から同額の分をいただいて、その分を使用料として大阪府の方に支出している。

### 土木費

**問** 空洞構造調査業務委託料で町道のうち、田尻町地域防災計画で避難路と位置づけられている路線の路面下の空洞を調査し、路面下の空洞21カ所を発見し、早急な対応が必要な11カ所の補修を行ったが、空洞があったら、皆、早急対応すべきだと思うが、あとの10カ所はどうするのか。

**答** 危険度の低い10カ所とは、空洞の箇所が比較的低くて小さく、考察の中で、完全に空洞ではなくて、中に木片が埋まっているとか、撤去できなかった古い水道管であるとか、その可能性が比較的高いというような結果も出ている。委託業者と相談もして、一定、経過観察という結果にとどめている。

今後しないわけではなく、空洞調査は何年かごとにしていく必要があり、その中でしっかりと経過を残して、今後につなげたい。

### 消防費

**問** 移動系の防災行政無線を予算要求時は26台整備するという話があったが、どういったところに配備されたのか。

**答** 移動系無線の内訳は、トランシーバー型の移動の半固定という、少し大型のものである。

場所については、本庁舎の危機管理課のところ、

これは指令局という形で1台置いている。それから、各施設、ふれ愛センター、公民館、別館、小中学校、幼稚園・保育所は、半固定型の端末を置かせてもらっている。

消防センター、吉見ポンプ場、浄水場は、フリーという形で12台、消防団にトランシーバー型の移動無線局という形で3台整備をしている。

**教育費**

**問** 学校給食費の件で、食中毒等が発生した場合、誰が責務を負うといった、そういう管理体制はしっかりやっているのか。

**答** 委託業者とは衛生管理マニュアルに基づいて、管理栄養士、学校の先生のもとに適切に対応している次第である。もし何か出たというふうな形になると、やはりその業者も責任はあるが、最終的にはやはり教育委員会ということになると考える。

**賛成討論** 平成28年度については、こども医療費助成の拡大、防災体制の強化整備と住民福祉向上のため積極的に取り組んでいただいた。また、町の課題は、町行政と住民が主体的に考え解決していくとの考え方を示した。今後においても住民の声に耳を傾け、正面を向いて行政運営を進めていただくことを要望し賛成する。

◎平成28年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)決算認定の件 **【全会一致で可決】**

**問** 保険給付費については、平成27年度と28年度を比較すると、約2千万円の減少ときいたが、予算委員会のときに28年度においては医療費が大幅に増大となって、基金の取り崩しも予定しているというように伺っていたがどうなっているのか。



**答** 予算委員会のときには、平成27年度の医療費が大幅に伸びたために、28年度も同様に伸びるものと見込んでいたが、28年度決算においては、27年度と比較すると減少となった。

◎平成28年度田尻町後期高齢者医療特別会計決算認定の件 **【全会一致で可決】**

**問** 後期高齢者医療の被保険者は、現時点では何名になっているか。

**答** 平成29年3月末現在で1,001人となっている。

◎平成28年度田尻町介護保険特別会計決算認定の件 **【全会一致で可決】**

**問** 28年度は、総合事業に移る準備の段階の年であり、29年度から総合事業に移ったと思うが、今、要支援1、2はデイサービスとホームヘルパーサービスが受けられないのではないか。

**答** 従来行っていた現行のサービスは残しているので、総合事業に変わって減ったということではなく、サービスの低下にはなっていない。



◎平成28年度田尻町下水道事業特別会計決算認定の件 **【全会一致で可決】**

**問** 下水道債が34億546万円となっているが、最終償還年度、償還計画、それはどうなっているのか。

**答** 起債の残高が約34億円で、このまま起債を発行しなければ平成51年度に完済となる。

◎平成28年度田尻町水道事業会計決算認定の件 **【全会一致で可決】**

**問** 本町の標準世帯のおよその月額料金は幾らか。

**答** 概算として、年間1件当たり8千円ぐらいである。

**審議結果**

意見が分かれた議案名	審議結果	仁部 順行	明貝 一平	吉開 育子	小川 雄司	東 小夜子	中川 達夫	大門 久恭	小林 健治	金田 裕治	坂口 実
田尻町公共施設等維持整備基金条例制定の件	原案可決	○	議	×	×	○	○	○	○	○	○
田尻町老人医療費の助成に関する条例廃止の件	原案可決	○	議	×	×	○	○	○	○	○	○

○…賛成    ×…反対    議…議長のため賛否なし



# 平成29年度町村議会広報研修会

報告者 広報委員 東 小夜子

## 【研修内容】

「伝える広報」から「伝わる広報」へ  
 議会広報なにがどう変わってきたか  
 優秀賞受賞紙から学ぶ



## 【感想】

去る平成29年9月29日(金)に東京都千代田区のシェーンバッハサポー会館において、平成29年度町村議会広報研修を受講しました。この広報研修は、全国各地から議会議員が参加しており、様々な議会だよりを学ぶことができます。

研修では、次の3点について気づきました。

まず1つ目として、今までの議会だよりについては説明のための字数が多く、より見づらくしており「空白は無駄なスペースではない」ということ。

2つ目として、「文章は中学生がわかるように、やさしく書く」こと。

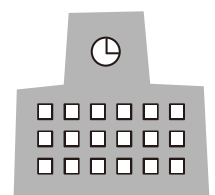
3つ目の最後に、読み手の住民を意識しすぎた「過剰な敬語表現を避ける」こと。

以上のことを、今後の「議会だより」の編集に生かして行きたいと思っています。



# 教育施策勉強会を創設

今般、教育行政の推進に繋げることを目的に議会議員全員で教育行政全般の各種施策について、調査、研究するため「教育施策勉強会」を創設しました。



## 請願

### ◎無料スケートパーク・バスケットコート設置に関する請願

全会一致で採択

**趣旨** 子供から大人まで自由にスケートボード・バスケットボールの練習ができる場所を設置すること等。  
 【一部抜粋】  
 紹介議員：金田 裕治

## この人にインタビュー

嘉祥寺在住  
 スケートボーダー 熊谷 一 聖さん (21)

**Q** スケートボーダーとしての活動は？

**A** スポンサー契約をいただきながら、最近は雑誌、動画の撮影が多く、CMにも出演しています。

**Q** 普段の練習場所は？

**A** 末広公園です。

**Q** 将来の目標は？

**A** デザイン関係の仕事に就きたいです。大学でもデザイン学科を専攻していることもあり、実際自分がデザインしたTシャツを作ったりしています。  
 スケートボードを通じて自分の目標を見つけました。

**Q** スケートボーダーで良かったことは？

**A** スケートボードを通じて色々な国や地域を見ることができました。また国籍問わず人々との繋がりができたことです。



**Q** 今後の活動目標は？

**A** 田尻町でスケートボード仲間を増やして、こどもたちにスケートボードを教えたりして地域貢献できればと思っています。



## 田尻町議会の ちょット教えて



**Q** 以前本町で行っていたグローアップ事業ってナニ??

**A** グローアップ事業は、ふるさと創生事業の半分を原資とするグローアップ基金で運用していました。  
 当初、海外研修と留学助成や語学検定助成等があり、国際化対応の人材育成事業として、平成2年度から18年度まで実施されました。

現在では、外国語指導助手や中学校全校生徒への語学検定助成、また、関西国際空港や関西国際センターが立地する利点を生かした、国際理解、国際交流の推進などに取り組んでいます。